

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

普通期水稲におけるいもち病の防除対策の徹底について

普通期水稲において、葉いもちの発生が増加しており、一部では多発生となっている圃場もみられています。8月中旬以降、いもち病の感染に好適な気象条件が出現していることから、今後さらに本病の発生が増加する恐れがあります。

ついては、下記を参考に、本病の防除対策の徹底について、生産者への指導をお願いします。

記

1. 発生概況

- (1) 8月17～20日に実施した普通期水稲の調査（48圃場）では、葉いもちの発生株率は11.3%（平年14.1%、前年7.8%）であり、平年及び前年並であった（図1）。
- (2) 葉いもちの発生状況は圃場ごとに異なっており、一部で発生株率が高い圃場がみられる（表1）。

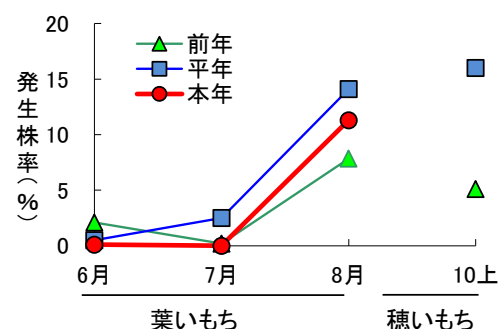


図1 普通期水稲におけるいもち病の発生

2. 気象に基づく今後の発生予測

- (1) 感染好適条件が、8月16日～19日に出現したことから、約1週間の潜伏期間を経て、今後、発病が増加する可能性がある。
- (2) 福岡管区气象台が8月19日に発表した九州北部地方の1か月予報では、向こう1か月は平年に比べ晴れの日が少ないと予想されている。このため、曇雨天等の感染に好適な条件が出現した場合は、さらなる感染が助長されると予想される。

3. 防除対策

- (1) 圃場によって葉いもちの発生状況が異なるため、必ず圃場ごとの葉いもちの発生状況を確認する。
- (2) 葉いもちの進展型病斑がみられる圃場では、早急に防除を行う。
- (3) これから出穂を迎える圃場において、葉いもちの発生がみられる圃場では、穂ばらみ後期の穂いもち防除を徹底する。さらに、穂いもちの多発生が予想される場合には、穂揃い期にも防除を行う（図2）。



写真 定期調査圃場における葉いもちの発生（2021年8月19日撮影）

表1 普通期水稲における葉いもちの発生状況
(2021年8月17～20日、25株調査)

調査地点 ^{注1)}	発生株率	調査地点 ^{注1)}	発生株率
	%		%
A ①	0	G ①	4
②	0	②	56
③	0	③	4
④	0	④	0
B ①	40	H ①	0
②	88	②	0
③	52	③	4
④	56	④	0
C ①	60	I ①	4
②	36	②	0
③	12	③	8
④	20	④	0
D ①	12	J ①	8
②	4	②	0
③	0	③	4
④	0	④	0
E ①	0	K ①	0
②	0	②	0
③	8	③	0
④	8	④	4
F ①	0	L ①	8
②	4	②	0
③	0	③	0
④	0	④	36

注1) 県内12地点で4圃場ずつ調査した。上記の調査結果が、必ずしも当該地域全体の発生状況を示すものではない。

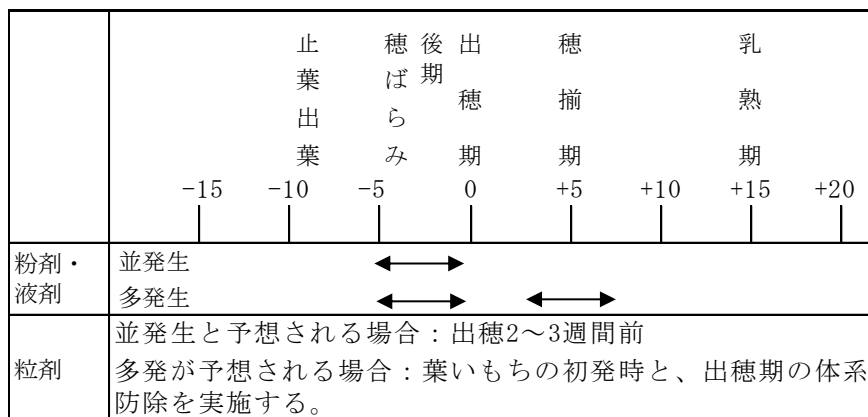


図2 穂いもちの防除適期

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里1088

TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085

Mail nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00321899/index.html>

